

ハンドルパイプ

アジャスタブルボルト

従来型製品イニシャルアジャスターの場合  
Ape100のノーマルトップブリッジを変更し、従来型のイニシャルアジャスターを装着する場合、ハンドルパイプに干渉する為、干渉しない位置まであらかじめアジャスタブルボルトを下げる必要があります。下げることで、同時にフォークスプリングに荷重がかかり、**強めの荷重がかかった状態からの締込み調整しか出来ません。又、荷重を弱めることも制限されます。**

取付時にかかる荷重

強めの荷重がかかった状態からの調整

ハンドルパイプ

ハ-ハンドル装着時のアジャスター移動量:約6mm

■弊社製イニシャルアジャスターの場合  
左記同条件でApe100に装着する場合、ハンドルパイプに干渉しない位置まで下げても荷重がかからず、**アジャスター移動量約6mmの範囲で調整が可能。**強めの荷重もかからず、調整範囲内での好みの調整が可能になります。

荷重の無い状態からの調整が可能!!  
(アジャスター装着時にSTDより3mmの加重を設けております)